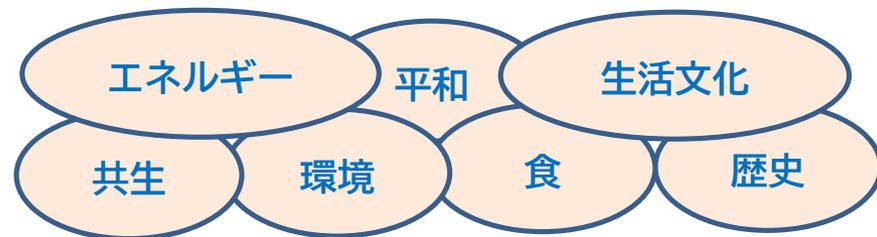


若狭湾 探究型 教育旅行 プログラム

一般社団法人 若狭湾観光連盟



新しい学習指導要領では“生きる力”をキーワードに、より「主体的・対話的で深い学び」が求められるようになり、校外学習や修学旅行などでも、それを望む学校も徐々に増えています。

若狭湾地域は、自然環境や歴史・文化に恵まれ、これまでも様々な体験型教育コンテンツを提供してきました。また、多くの博物館も在り、疑問を生み解決する「探究要素」を含んだ「若狭湾ならではの主体的・対話的な教育旅行プログラム」の提供が可能です。

教育旅行を企画される学校の担当者の皆様、是非連携して次の時代へ繋がる学びの機会をこの若狭湾地域で、共に創り上げていきましょう。

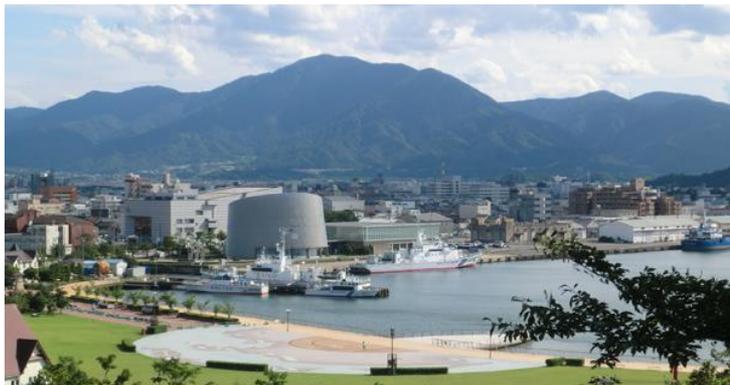
敦賀式平和学習～なぜ人道の港と呼ばれるのか～



金ヶ崎緑地と呼ばれるウォーターフロント一体にある施設「人道の港 敦賀ムゼウム(主に平和学習)」、「敦賀鉄道資料館(主に欧亜国際連絡列車など鉄道の歴史)」、「敦賀赤レンガ倉庫(主にジオラマで敦賀市の歴史を学ぶ)」を散策しながら、平和学習・グループ活動ができます。

学習のポイント

- ・差別、争いなどからある日突然、弱者の立場になり得ることやそういう立場の人とどう接するのかを考えるきっかけとなります。
- ・ポーランド孤児、ユダヤ難民の辿った苦難を知ることを通じて、より身近に平和の大切さなどを感じることができます。



実施時期	通年(要予約)
所要時間	約3時間
対象	小学生・中学生・高校生
受入可能人数	120名まで
料金	1人 1,800円(税込・午前のプログラム) ※午後のプログラムについては要相談

【お問合せ先】

一般社団法人敦賀観光協会

TEL 0770-22-8167

FAX 0770-22-8197

事前学習

- ・まずは敦賀市とはどのようなところなのかを学ぶ。
- ・人道の港 敦賀ムゼウムで紹介(シアター映像)している歴史について、概要を学ぶ。
- ・「なぜ敦賀市だったのか」、「なんでシベリアにポーランド孤児がいたのか」、「ユダヤ難民とは」といったテーマ性を示して、調べ学習のきっかけを作る。

現地学習

プログラムの流れ

《午前》

- ・オリエンテーション【30分】
- ・施設周遊(敦賀鉄道資料館・敦賀赤レンガ倉庫・人道の港敦賀ムゼウム)【100分】
- ・まとめの会【30分】



① 敦賀鉄道資料館(旧敦賀港駅舎)

敦賀の鉄道、欧亜国際連絡列車などの歴史を学び、なぜ孤児や難民が上陸したのが敦賀港だったのかを学んでもらいます。



③ 人道の港 敦賀ムゼウム

港町として発展してきた敦賀市の歴史を基礎に、孤児・難民を敦賀市民との交流の様子、現在まで続く彼らの感謝の気持ちなどを伝えます。

※午後から「ユダヤ難民が辿った足跡マップ(人道の港 敦賀ムゼウムー敦賀駅周辺)」をご案内することも可能です。



② 敦賀赤レンガ倉庫

昭和初期の敦賀のまちなみを再現したジオラマを見てもらい、事前学習した当時の敦賀の背景(どのようなまちなみ・市民性など)などを感じてもらいます。

④

【オリエンテーション】

お迎え、事前学習の振り返り、敦賀港の歴史(写真など使用)について説明などします。

【まとめの会】

「ヘブンと呼ばれて」DVD鑑賞(「命のビザ」を携えて敦賀港に降り立ったユダヤ難民3人の軌跡や当時の敦賀の人たちとの温かい交流を紹介)、生徒による周遊した感想の共有(メッセージカードに記入)、お見送りをします。



オンラインにて学習したことの成果発表

事後学習